



テクニカル・メッセージ

路線バス 後扉閉時 戸開き知らせ灯消灯確認のお願い

KV/KR車(ブルーリボンⅡ/レインボーⅡ)動力伝達カット仕様車にて、走行中後扉が開いた事例が発生しました。

確認の結果、後扉に傘の先端や小石等の小物が挟み込み、扉が完全に閉まりきらない状態では、挟みこみ防止装置(光電管等)に乘客や荷物等が触れた場合、扉が開いてしまう恐れがあることが判明しました。

後扉を閉めたにもかかわらず、乗降扉部安全確認インジケータパネルの「戸開き知らせ灯」(下記写真の赤丸部)が消灯しない場合には、後扉が完全に閉まっていない事が考えられます。

必ず、「戸開き知らせ灯」が消灯した事をご確認の上、運行して頂くようお願い致します。また、「戸開き知らせ灯」が点灯したままの場合には後扉廻りの点検をお願いします。

1. 対象車型

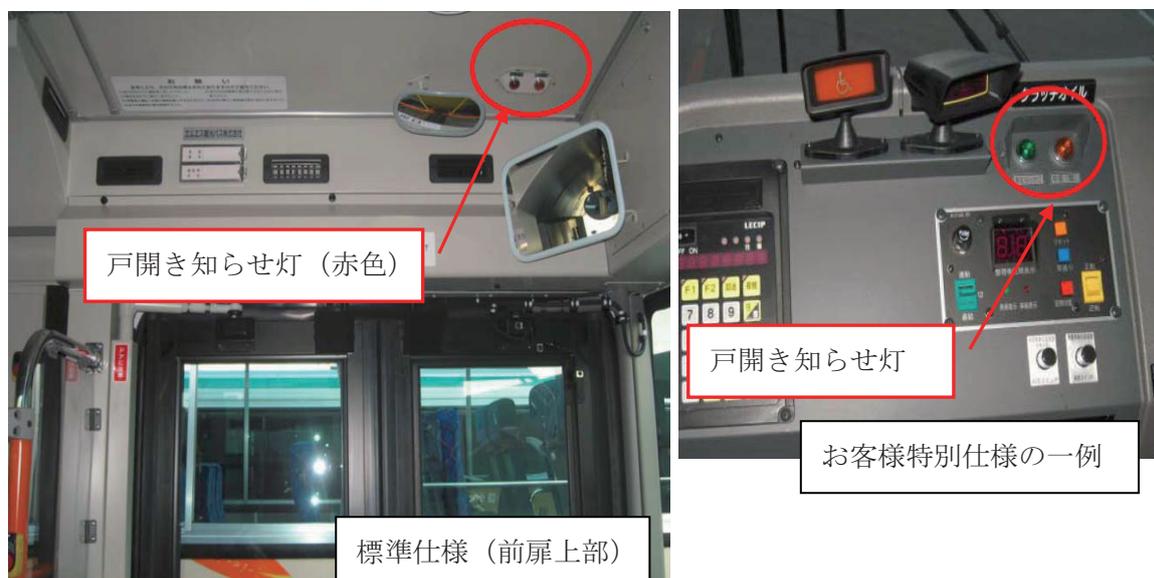
KV/KR車型 (ブルーリボンⅡ/レインボーⅡ)

動力伝達カット仕様 2009年以降AT車 2012年以降MT車

2. 確認方法

後扉を閉め車両を発進させる際には、乗降扉部安全確認インジケータパネルの「戸開き知らせ灯」が消灯していることを確認してください。

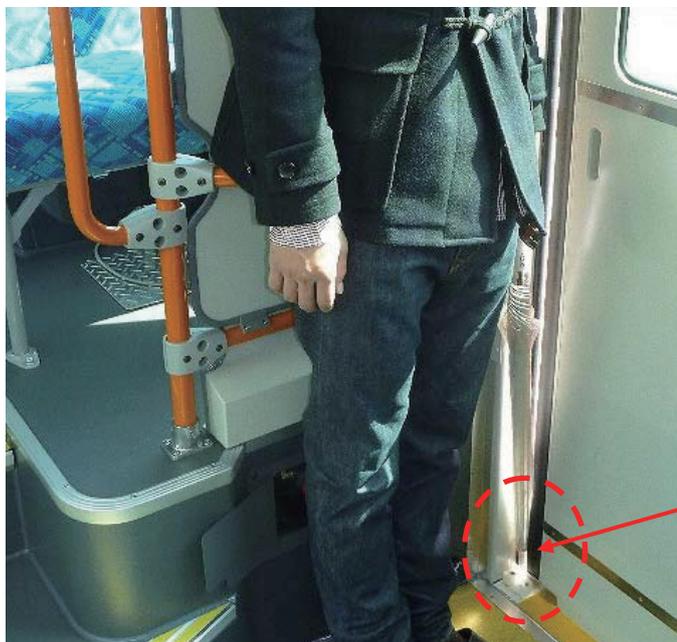
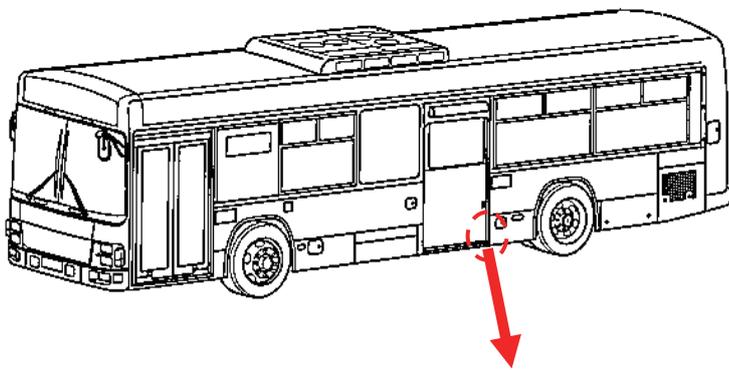
《乗降扉安全確認インジケータパネルの「戸開き知らせ灯」取付け位置》



後扉を閉めたにもかかわらず、乗降扉部安全確認インジケータパネルの「戸開き知らせ灯」が消灯しない場合には、後扉が完全に閉まっていない事が考えられます。

必ず、「戸開き知らせ灯」が消灯した事をご確認の上、運行して頂くようお願い致します。また、「戸開き知らせ灯」が点灯したままの場合には後扉廻りの点検をお願いします。

<確認部位>



挟まれ状態
例；傘